「かずや市長と語る市政懇談会」意見及び回答
（伊豆高原ジオパーク研究会）

日時：令和８年９月２５日（木）１８時３０分～１９時３０分
場所：八幡野コミュニティセンター２階会議室

① ジオ看板について

② 小室山山頂の看板について

③ 大平の森について

④ 観光トイレの維持管理及び設置について

⑤ 自然研究路等の整備について

⑥ ふるさと納税の返礼品について

⑦ 城ヶ崎海岸の釣り人に対する注意喚起について

「かずや市長と語る市政懇談会」意見及び回答
（伊豆高原ジオパーク研究会）

意　　見
ジオ看板について
伊東市には魅力的なジオスポットが数多くありますが、一方で、現在、ジオスポットであることや、その場所が持つ地質・地形的な価値を来訪者に伝える看板が設置されていない場所もあります。（伊雄山、大平山等） 土地の所有権や管理、設置場所など調整が必要な場所もあると思いますが、ここがジオスポットであるということを伝えていくことが大切だと考えますので、ぜひジオ看板の設置をお願いします。
回　　答
伊東市には、地質・地形的な価値を有する魅力的なジオスポットが数多くあります。こうした場所について、ジオスポットであることや、その場所が持つ地質・地形的な特徴を来訪者に分かりやすく伝えることは、伊東市のジオパークの魅力を発信していく上で重要なことと認識しています。 今回ご指摘いただいた箇所については、まず現地の状況や既存の案内・表示の有無などを確認するとともに、土地所有者や管理者などの権利関係についても把握していきます。 その上で、看板の設置場所や設置方法、維持管理の方法などについて、それぞれの場所の状況に応じて、どのような方法で案内・情報発信ができるのかを検討していきます。

「かずや市長と語る市政懇談会」意見及び回答
（伊豆高原ジオパーク研究会）

意　　見
小室山山頂の看板について 小室山山頂が整備された際、北側に設置されていた看板が撤去されました。 小室山からは、伊豆半島の地形や成り立ちを一望することができ、ジオガイドにとって大変重要な場所です。北側の景観を説明する際には、山の位置や名称を確認しながら解説する際、現在は目印となる看板がないため、ガイドの際に説明しづらい状況となっています。 ジオパークのガイド活動や訪れる観光客のためにも、頂上北側に、周辺の山の名称が分かる案内看板を設置していただきたいです。
回　　答
ご指摘いただきました看板は、小室山山頂の整備の際に撤去した経過がございます。小室山頂上については、現在、東海自動車株式会社に土地を貸し付けていることから、今回いただいたご意見・ご要望については、東海自動車株式会社と共有させていただきます。 その上で、小室山山頂からの景観や周辺環境との調和にも配慮しながら、ジオパークのガイド活動や来訪者への案内に役立つ案内看板の設置について、検討してまいります。

「かずや市長と語る市政懇談会」意見及び回答
（伊豆高原ジオパーク研究会）

意　　見
大平の森について 大平の森に行くまでの道に倒木や石などがあり、行きづらくなっています。 整備していただくことで健康回復公園として、より多くの方に訪れてもらえる場所になると思いますので、検討をお願いします。
回　　答
伊東市として、まずは現地の状況を確認し、倒木や石など、通行の支障となっている箇所を把握し、道路環境の改善について対応を検討します。 また、６月の台風７号及び８号の大雨によって、大平の森へ向かうための林道の法面の一部が崩落したため、安全上の観点から車両を通行止めにしております。年内には、復旧に向けた工事の着手を予定しておりますが、工事の完成まで通行止めとなりますので、ご理解とご協力をお願いします。

「かずや市長と語る市政懇談会」意見及び回答
（伊豆高原ジオパーク研究会）

意　　見
観光トイレの維持管理及び設置について
ジオガイドとして、お客様をご案内していて感じるのが、トイレの環境は、観光地の印象や安心して歩いていただくために非常に重要であるということです。 特に、主要な観光スポットだけではなく、利用者の少ないトイレについても、定期的に点検し、清潔で安心して利用できる状態を維持していただきたいと思います。 また、自然研究路などを歩く場合、トイレが限られた場所にしかないため、ガイドする側も、お客様の年齢や体調などを考えながら、トイレの場所を事前に確認し、行程に配慮しています。 訪れる方にゆっくり楽しんでいただくためにも、必要な場所には適切にトイレを整備するとともに、設置後もしっかりと維持管理していただきたいと思います。
回　　答
伊東市として、観光地におけるトイレの環境は、訪れる方に安心して観光を楽しんでいただくために重要なものと認識しています。 日頃から、清掃を委託している業者からの報告や利用されている方からの情報をもとに、必要に応じて修繕や補修を業者へ依頼し、適切な維持管理に努めています。 一方で、トイレについても年々老朽化が進んでいることから、今後も必要な修繕や改修を行い、日頃から清潔で快適に利用していただけるトイレ環境を維持していきたいと考えています。 また、トイレの新規設置についても、利用状況やニーズなどを踏まえ、必要な場所への整備を検討していきます。 現場で活動されている皆様だからこそお気づきになることもあると思いますので、トイレの場所や維持管理について、今後もご意見等がありましたら、ぜひ市へお聞かせいただきたいと思います。

「かずや市長と語る市政懇談会」意見及び回答
（伊豆高原ジオパーク研究会）

意　　見
自然研究路等の整備について 自然研究路の整備していただいたのは大変ありがたく思っていますが、私たちジオガイドがこれまで案内の中で紹介していた樹木等の一部が、整備に伴って伐採されており、残念に感じる箇所がありました。 自然研究路には、そこにある樹木や植物、地形、景観など、それぞれにガイドとして伝えてきた意味や魅力があります。 今後、自然研究路等の整備や樹木の伐採等を行う際には、可能であれば、事前にジオガイド等、現地を案内している者と一緒に対象箇所を下見する機会を設けていただけないでしょうか。 現場を知るガイドの意見を参考にしていただくことで、整備の必要性を尊重しながらも、伊東の自然や地質の魅力をできるだけ残した、より良い整備につながるのではないかと思います。 今後も、行政とジオガイドが情報を共有しながら、伊東の自然の魅力を次の世代へ伝えていけるよう、ご配慮いただければ幸いです。
回　　答
自然研究路については、訪れる方の安全性や利用のしやすさを確保することに加え、伊東の豊かな自然環境や地質、景観などの魅力をできる限り活かしていくことも重要であると認識しております。 今回いただいたご意見を踏まえて、自然研究路等の整備や草木の伐採などを行う際には、可能な範囲で事前にジオパーク研究会の皆様をはじめ、関係団体の皆様に整備内容をお伝えし、情報共有を図ってまいりたいと考えております。 また、必要に応じて、整備に着手する前にジオガイドの皆様などと一緒に現地を確認する機会を設けるなど、現地の状況や、ガイドの皆様がこれまで案内の中で大切にされてきた樹木、植物、地形、景観等についてもお話を伺いながら、整備内容を検討していくことを考えております。 こうした意見交換や現地確認を通じて、安全性や利便性を確保しながらも、伊

「かずや市長と語る市政懇談会」意見及び回答
（伊豆高原ジオパーク研究会）

東の自然や地質、景観が持つ魅力を損なうことのない、より良い整備につなげていければと考えております。

「かずや市長と語る市政懇談会」意見及び回答
（伊豆高原ジオパーク研究会）

意　　見
ふるさと納税の返礼品について 伊東市のふるさと納税について、現在の返礼品は海産物などの特産品が中心となっていると思われますが、伊東市が有する「伊豆半島ジオパーク」の魅力を生かした、体験型の返礼品を導入してはいかがでしょうか。 伊東市には、大室山や城ヶ崎海岸をはじめ、火山活動によって形成された特徴的な地形・地質など、伊東ならではのジオサイトが数多くあります。こうした地域資源を単に「見る」だけではなく、ジオガイド等の案内によって実際に現地を歩き、伊東の大地の成り立ちや自然、歴史、文化を学ぶことができる体験を、ふるさと納税の返礼品として提供することを提案します。
回　　答
伊東市では、ふるさと納税を今後も重要な取組の一つとして、より多くの方に伊東市を知っていただき、寄附先として選んでいただけるよう、魅力ある返礼品の充実に努めていきたいと考えております。 **現在の返礼品に加え、伊東市ならではの地域資源を生かした体験型の返礼品についても、寄附者の皆様に伊東の魅力を実際に体験していただく機会の一つとして、導入の可能性を検討してまいります。** **体験型の返礼品を実施する際には、伊豆高原ジオパーク研究会の皆様をはじめ、関係する皆様の知識や経験、ご協力が必要になるものと考えております。その際には、ぜひお力添えをいただければと思います。**

「かずや市長と語る市政懇談会」意見及び回答
（伊豆高原ジオパーク研究会）

意　　見
城ヶ崎海岸の釣り人に対する注意喚起について 城ヶ崎海岸では、一部の釣り人によって、使用した釣り糸や仕掛け、餌の容器等のごみがそのまま放置されている状況が見受けられます。 城ヶ崎海岸は、伊東市を代表する貴重な自然景観であり、ジオパークとしても重要な場所です。こうしたごみの放置は、景観を損なうだけでなく、自然環境や野生生物への影響も懸念されます。 ゴミの持ち帰りを促す看板を、釣り人が利用する場所や目につきやすい場所に設置していただきたいと考えます。
回　　答
釣り人に対するマナーの注意喚起については、看板の設置場所が重要であることから、まずは設置場所の検討から進めていきたいと考えています。 城ヶ崎海岸には、地形や安全上の理由から釣りが危険な区域もあり、そうした場所に看板を設置することで、釣りを容認しているとの誤解を招く可能性があります。 そのため、設置場所については、安全面や周辺環境、既存の利用状況等を踏まえ、慎重に検討していきます。 その上で、まずは市が管理する駐車場等、設置が可能で効果的な場所から、釣り人に対するごみの持ち帰りやマナー遵守の注意喚起を行うなど、実施可能な取り組みから進めていきたいと考えています。